

大会名 Competition	第30回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-109	Year Month Day Time 2017 年 5 月 4 日 15 : 28
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
明	成	市立船橋
77	○	63 ●
22 1st 16 19 2nd 14 20 3rd 12 16 4th 21 E P		

主審:Referee 小野寺浩 秋田
副審:Umpire 富樫彰子 宮城
高橋 元 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代松陽高男子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	✓	村上 孝太		0	0	0	0	1	4	×	保泉 遼	CAP	21	2	6	3	3
5	×	塚本 舞生		14	0	5	4	2	5	×	庄司 理宇		10	1	1	5	4
6	×	相原アレクサンダー	学 cap	12	0	5	2	2	6	×	薬丸 侑平		20	2	5	4	3
7	✓	深田 一成		0	0	0	0	0	7	×	野崎 由之		8	0	3	2	3
8	×	八村 阿蓮		22	0	9	4	5	8	✓	後藤 恵梧		0	0	0	0	4
9	✓	蒔苗 勇人		2	0	1	0	3	9		浅沼 友惟		-	-	-	-	0
10	×	田中 裕也		16	1	6	1	4	10		前田 悟司		-	-	-	-	0
11	✓	木村 拓郎		0	0	0	0	0	11		廣瀬 圭右		-	-	-	-	0
12	×	本間 紗斗		11	3	1	0	1	12	✓	星野 怜		0	0	0	0	1
13		古川 空音		-	-	-	-	0	13	✓	楊 博		0	0	0	0	1
14		バブシキ ダニエル		-	-	-	-	0	14	×	兼重 パトリック		4	0	2	0	5
15	✓	菱倉 嵩人		0	0	0	0	0	15		三上 颯斗		-	-	-	-	0
16		井上 耀		-	-	-	-	0	16	✓	大澤 響生		0	0	0	0	0
17		小川 祥英		-	-	-	-	0	17		碓氷 真吾		-	-	-	-	0
18		江刺 明青		-	-	-	-	0	18		大川 颯斗		-	-	-	-	0
コーチ		佐藤 久夫						0	コーチ		近藤 義行						0
コーチ		高橋 陽介						0	コーチ		井上 知徳						0
合計				77	4	27	11	18	合計				63	5	17	14	24

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	22	28.57%	八村 阿蓮
2	16	20.78%	田中 裕也
3	14	18.18%	塚本 舞生

1	21	33.33%	保泉 遼
2	20	31.75%	薬丸 侑平
3	10	15.87%	庄司 理宇

Score ranking[Game]

1	22	八村 阿蓮	明成	2	21	保泉 遼	市立船橋	3	20	薬丸 侑平	市立船橋
---	----	-------	----	---	----	------	------	---	----	-------	------

能代カップ常連校同士の対決。

1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。明成#5塚本がカットインからファールをもらいフリースローを決める。市立船橋#14兼重のジャンプシュートが決まり、互角の戦い。両チームともシュートの確率が低い。明成は、#10田中の3ポイントシュートや#6相原のリバウンドからのシュートが決まり、流れをつかむ。22-16明成リードで1Q終了。

2Q、市立船橋は明成の厳しいディフェンスでタフショットが続き、得点できない。明成は、外のシュートが決まらず、ドライブからのプレーを増やす。残り4分、明成の速攻が決まり8点のリード。市立船橋は、#4保泉のカットインや#6薬丸の3ポイントシュートが入るが、41-30明成11点リードで2Q終了。

3Q、市立船橋#6薬丸のカットインが決まる。両チームとも、リバウンドからの速攻で5人とも良く走るがディフェンスの戻りも早く、得点できない。明成はドライブからのパスによる3ポイントシュートや、リバウンドからのシュートでリードを広げる。市立船橋はタイムアウト後、2-2-1のゾーンプレスに変更。明成はゾーンの隙間を突くパス回しからのシュートで加点する。61-42明成リードで3Q終了。

4Q、市立船橋#4保泉のステップインや#6薬丸のカットインで得点するが、明成もオフェンスリバウンドからのシュートやディフェンスリバウンドからの速攻が決まり、点差は縮まらない。両チームとも高校生らしく、よく走り、一生懸命であった。外のシュートとドライブのうち確率の高い方のプレーを各場面で判断できた明成が77-63で勝利した。

文責 【 七尾 明英 】